



「歯のかぶせ物、白が人気です 新技術+保険適用で身近に」

朝日新聞さんの記事をご紹介します

<https://www.asahi.com/articles/ASL4N5FWML4NUBQU00T.html> より

デジタル技術を使った新しい歯のかぶせ物の公的医療保険の適用が広がっている。白いため銀歯より自然に近く、付け替える人もいる。

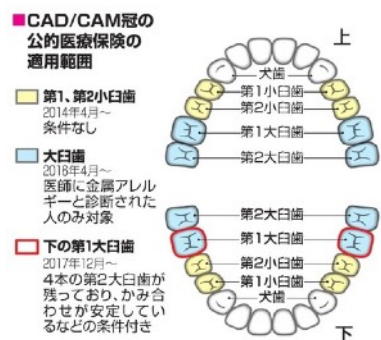
東京都大田区的美容師小林大輔さん(42)は、5本の歯に銀歯が入っていた。笑うと銀歯が見えるのを気にしていた。子どもにからかわれたこともあった。

銀歯を白いかぶせ物に替える治療を始め、4本は「CAD (キャド) / CAM (キャム) 冠」にした。公的医療保険が使える、自己負担は1本約8千円

小林さんは「歯を気にせず笑えて、お客さんにも口を大きく開けて説明できるようになった」と喜ぶ。

CADとCAMはそれぞれ、コンピューター支援による設計、加工を意味する。CAD/CAM冠はこれらの技術で造られたかぶせ物「冠」だ。

(後略)



当院でもCAD/CAM冠の治療を行なっています。

ご希望の方はスタッフまでご相談ください。



ないとう歯科医院 新潟市東区物見山2-35-19 TEL:025-270-2218 <http://www.naito-dental.com>

これまでの研究では、高齢者の日常的な歩行活動の評価はアンケートに基づいている。今回、愛媛大学の山本直史氏らは、客観的に歩行活動を評価する手段として歩数計を用いて、歩数と全死因死亡率の関連を検討した。その結果、1日平均歩数が多いと全死因死亡率が低いことが示唆された。BMC public health誌2018年4月23日号に掲載。

本コホート研究には、身体的に自立している地域在住の71歳の日本人419人(男性228人、女性191人)が参加した。1日の歩数は、ベースライン時に連続7日間、腰に装着した歩数計で測定した。1日平均歩数によって参加者を四分位に分け(第1四分位:4,503歩/日未満、第2四分位:4,503~6,110歩/日、第3四分位:6,111~7,971歩/日、第4四分位:7,972歩/日以上)、平均9.8年間(1999~2010年)追跡した。

主な結果は以下のとおり。

- ・追跡期間中に76人(18.1%)が死亡した。
- ・1日平均歩数の各四分位における死亡のハザード比(性別、BMI、喫煙、飲酒、薬剤服用を調整)は、最低四分位から順に1.00(基準)、0.81(95%CI:0.43~1.54)、1.26(同:0.70~2.26)、0.46(95%CI:0.22~0.96)であった(傾向のp=0.149)。
- ・最高四分位の参加者は、最低四分位の参加者と比較して死亡リスクが有意に低かった。



みなさんたくさん

歩きましょう!